



教育センター・育成センター所報

GALILEI



高校生の発表



グループ討議



CONTENTS

今月の巻頭言	P 1
教材研究のススメ 学校教育課長 阿部 和雄	
教育センターだより	P 2
アクセス(教育研究班)	P 2
プロジェクト K(科学技術教育センター)	P 6
心の窓(教育相談班)	P 10
青少年育成センターだより	P 11
11月の行事予定表	P 13
所員随想「つれづれ」	P 13
自然のすがた 教育研究班(科学)非常勤職員 丸山 恵	

平成25年10月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

教材研究のススメ

学校教育課長
阿部 和雄



9月24日の内外教育の巻頭言に、大阪府教育委員長の陰山英男氏が「原点に返れ」と題して、次のような文章を書かれていました。

今、授業改善という言葉がよく聞かれるようになってきた。従来の日本の教育は、教師が生徒に伝達するタイプの授業形態だが、これからはそれを改め、思考力のある子どもを育てなければならない。だから授業改善が必要だといわれている。＜中略＞ 私は今、学校現場が忘れかけている言葉を思い出さなければいけないと思っている。その言葉とは、教材研究である。

教材は子どもたちが学ぶべきものであり、それを教師が研究するということは、子どもがどこまで自力ででき、何を教えなければならないのかを教師が吟味することを意味する。つまり、子どもを伸ばす上で、教材研究は絶対的に必要なことであり、そうした研究なくして表面的な授業の方法論を変えたとしても思考力が育つとは思えない。＜後略＞

板書、発問、話し合い、振り返り等の日々の授業改善の重要性が訴えられている。私も市教委の計画訪問において、授業改善の取組をお願いしてきた。しかし時々、何を考えさせる発問？何のための話し合い？何を確認するための振り返り？という場面に出会うことができました。

陰山氏の文章を読んだ時、「そうだ！」と思いました。授業改善は大事ですが、その前に教材研究をしっかりとすることで、「教科書を教えるのではなく、教科書で教える」ことができるのだ、メリハリのある学習活動が成立するのだと思います。

新しい単元に入る前に、教科書や指導書をしっかりと読み込み、学習指導要領解説にも当たることで、単元の目標や指導内容（評価規準）を明確につかむ。そして、単元の系統性や児童生徒の実態も踏まえながら、単元全体の構成を考える。そういった教材研究をすることで、1時間ごとの身に付けさせたい力が明確になり、日々の授業改善と相まって、充実した授業が展開されるのだと思うのです。

「現場は多忙で教材研究どころではない」という声が聞こえてきそうです。現場を離れると、現場の大変さや苦労が分からなくなってしまうようです。しかし、自分の得意な教科や研究授業をする単元だけでもよいと思います。自分の仕事に優先順位を付けたり、軽重を付けたりして、教材研究の時間を生み出しましょう。教材研究を地道に続けることで、5年後、10年後には、教師としての力量、指導力は確実に向上します。

■ 実施研修講座を振り返って

タブレットPCも使用してデジタル教科書の有効活用を！

9/19(木) 中学校英語デジタル教科書活用講座

英語は、デジタル教科書の利点が最も発揮される教科の一つです。この日の講座では、使い方の師範の後、各学校に1台納品されているタブレット型PCを用いての実演も行いました。(田村実情報教育主事より)

子どもにとって、デジタル教科書を使用した方が効果的と思う場面では、「準備に手間がかかる」等の壁を乗り越えても使うことが私たちの仕事です。「これは興味関心を示さだろうなあ」と思いながら授業づくりをすることは、教師としての喜びでもあります。

参加された先生方の感想には「様々な使い方や機能を知る良い機会になった。タブレットPCが非常に有効だったので是非使いたいと思った」「普段からデジタル教科書は使用していたが、音読練習など新たな使い方がわかり活用していきたい」等、今後の有効活用に向けての意欲が高まったことが分かる内容が多く記述されていました。



タブレットの操作説明をする田村情報教育主事

本人や保護者と悩みや困り感を共有し、連携して進める特別支援教育を。

9/20(金) 発達の特徴がある子どもへの指導・支援

講師 教育センター臨床心理士 小林 東 学校教育課指導主事 今井 由実子

この講座は主に学校教育課、今井由実子指導主事が担当で、教育センター小林東臨床心理士も講師となり開催しました。そこでは、校内における特別支援教育の進め方、コーディネーターとしての在り方、関係機関との連携、等についての研修を深めました。また、担当講師と参加された先生方とのQ&Aを、時間をかけて行いました。その中では、実際の現場での指導や保護者との連携に悩む具体的な事例が数多く出され、それに対してのアドバイスを全員で共有する場面もあり、有意義な研修となりました。

参加された先生方の感想には「ユニバーサルデザインとは、それによって子どもが居心地の良さを感じなければ意味がないということに改めて感じました。学習ルールづくりにも生かしたいと思います。」「質問タイム、とってもありがたかったです。私にとって難しかった保護者との連携は、子どもの生きていく環境作りという視点で一緒にやっていけそうです」等、抱えていた課題解決に効果的な研修だったことが分かる内容がありました。



参加された先生方同士、事例をもとに話し合う様子

「子どもへの指導が通ること。」この、あたり前過ぎる最低条件を...

10/1(火) 「つながる力を引き出す学級づくり」 - 集団づくりにおける教師の仕事
講師 上越教育大学教職大学院 准教授 赤坂 真二 様

上越教育大学、赤坂真二准教授をお迎えしてのこの講座は、毎年、学級づくりに焦点を当て、参加者同士の交流も交えながらの講座で、あっという間に時間が過ぎていく楽しい内容です。しかし、その深層は、学級の子も達全員の育ちを保障する教育者の資質を根源的に問いかける、大変重みのある内容だと感じました。

講義を開始してまもなく、赤坂先生から「学級が成り立つ最低条件とは？」という問いがありました。様々な答えがあって良いと思ったのですが、ここで赤坂先生は「指導が通ること」という選択肢を最上位に掲げられました。この、あたり前過ぎる最低条件を、いつ、なんどきも失うことがあってはならないのです。教師の生き方、人間性にかかわる重いメッセージを「日々の姿勢、積み重ねの中でどうやって意識的に創っていくか、が後半のテーマでした。



学級づくりについて語る赤坂真二准教授

以後の内容は、子どもとの深い信頼関係を築くための内容でした。安定した環境作りをするには、安心感を共有するには、等々。子どもが安心する学級の先生には、その笑いに共通した特徴があることにも触れられていました。

参加した先生方の感想には「とっても楽しい内容でした。明日から自分の学級の子もたちへの声かけを振り返り、もう一度、学級づくりを一から出直さなければ、という気持ちになりました」「新採用としてスタートを切ったあの時の初心に戻ることができました。」等、楽しい雰囲気の中にも、学級づくりという責任を真摯に受け止め今後の改善へ向かう熱い気持ちが述べられていました。

その視点を参考に ~ ESDの視点を取り入れた教育活動の改善 ~

10/18(金) 郡市指定研究発表会「教育課程」
研究発表 北鯖石小学校



北鯖石小学校で取り組んだESDとは education for sustainable development の頭文字をとったものであり持続可能な開発のための教育という意味です。換言すると「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考えからの脱却とともれます。

当日は全学年の公開があり、その後の屋台セッションでの質疑応答もありました。

ESDの視点は左図の6つの視点です。この視点の良さの一つに、例えば有限性や責任性といった切り口で事象を捉え単元構想

ができることで、学への切実感も出てきます。

「難しいことを易しく、易しいことを深く」という言葉があります。難しそうなESDですが、この視点を参考に、個人レベルでも授業改善が可能です。



屋台セッションの様子

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆ 柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
9/26	Word 活用5 Word2010 活用 5 .pdf (第 2 版) Word 活用 5 演習用例題.docx

◆ コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
10/11	ALT News Letter 第 23 号

■ 情報関連講習会のご案内

11 月に実施される講習会

◆ H25.11.15(金) スクールオフィス小学校時数管理講習

スクールオフィスの時数管理サブシステムについて、必要な設定、指導計画の作成・管理、時数集計などを学習します。この講座は小学校の教職員が対象です。

◆ H25.11.21(木) スクールオフィス中学校時数管理講習

スクールオフィスの時数管理サブシステムについて、必要な設定、指導計画の作成・管理、時数集計などを学習します。この講座は中学校の教職員が対象です。

◆ H25.11.26(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その6

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ 今年度の整備機器の活用を！

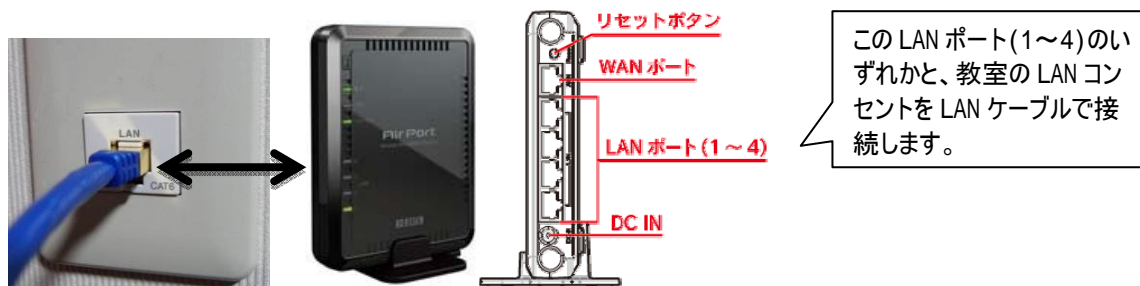
タブレットでデジタル教科書に挑戦してみませんか

今年度新たに整備した機器を利用することで、デジタル教科書の活用がとっても楽になります。利用するまでの手順を紹介しますので、まだ使っていない方はぜひ挑戦してみてください。

①利用したい教科のデジタル教科書が、下記のどちらのタイプか確認し、インストールが必要な場合はあらかじめインストール作業を済ませておいてください。

	EduMall から利用するタイプ	事前にインストールが必要なタイプ
教科	小:国語、社会、英語ピクチャーカード 中:国語、社会	小:算数、理科 中:英語、数学、理科、技術・家庭科
必要な準備	・利用時に無線ルータが必要。(一緒に整備されており、必要な設定はされています。)	・あらかじめタブレットにインストールしておく必要あり(過去に整備されたポータブルDVDドライブが使用できます)。また、インストール時は先生用のアカウントでログインする必要があります。利用時に無線ルータは不要。

②EduMall から利用するタイプの場合は、教室の LAN コンセントに無線ルータを接続し、無線ルータの電源を接続します。事前にインストールが必要なタイプではこの作業は不要です。

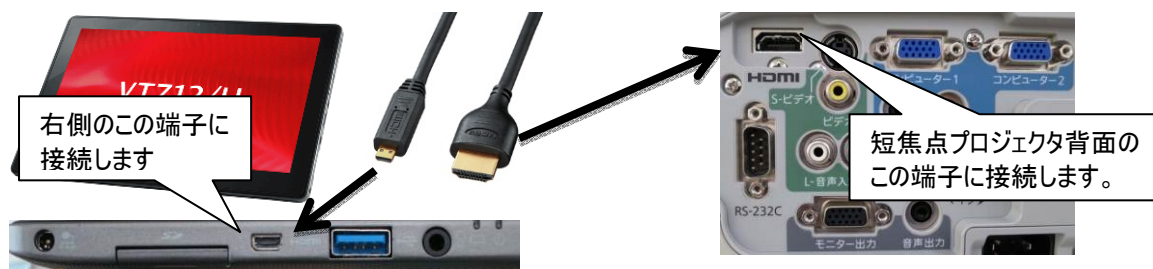


この LAN ポート(1~4)のいずれかと、教室の LAN コンセントを LAN ケーブルで接続します。

③短焦点プロジェクタとスクリーンを設置します。黒板に直接投影もできますが、より明るく見せるにはマグネットスクリーンを黒板にセットするとよいでしょう。短焦点プロジェクタなら教卓程度の位置で OK です。



④タブレット PC と単焦点プロジェクタを HDMI ケーブルで接続します。タブレット PC 側が小さいコネクタになります。ケーブルが短い場合は延長用のケーブルと中継コネクタも整備されています。



⑤プロジェクタの電源を入れ、タブレット PC にログインします。EduMall から利用するタイプの場合は以下のアイコンから、事前にインストールが必要なタイプはインストールにより作成されたアイコンからデジタル教科書を開いて使用します。



■■ ここがポイント！ ■■

- 1) HDMI は音声の信号も含まれますので、別途スピーカーをつなぐ必要はありません。プロジェクタから十分な音量で音を出せます。
- 2) タブレット PC にはペンが付属しており、直接液晶画面で操作できますので、黒板などの固い面やスクリーンでなくても利用できます。吊り下げ式や、立ち上げ式の大きなスクリーンも OK です。
- 3) 短焦点プロジェクタにも便利な電子黒板機能が内蔵されていますが、無理に使わなくても十分効果的な指導ができます。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

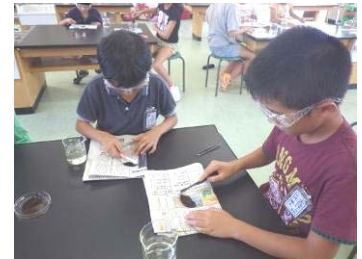
マイクロソフトより、10月9日付で10月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が4件、「重要」が4件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

研修会・事業の様子

要請研修『葉脈標本づくり』（9月24日実施）剣野小学校科学クラブ

内容

今年度3回目の剣野小学校科学クラブの要請授業。今回はツバキの葉を葉脈標本にしました。水酸化ナトリウム水溶液で葉肉をとかし、歯ブラシで丁寧にトントンたたき、きれいな水の中でシャブシャブシャブ。この「トントン・シャブシャブ」の繰り返しできれいな葉脈標本ができあがります。最後にはしおりにして持ち帰りました。



集中した作業の様子

児童の感想

「きれいに葉脈だけとれてよかった。網目のようになっていて細かいんだということが分かった。」

小学校4年生『体のつくり』（9月26日実施）

講師 刈羽村教育委員会指導主事 小林多佳子先生

内容

関節・筋肉・骨があるから人や動物の体は巧みに動くことができることを、体験や活動を通して学ぶための教材の紹介をしていただきました。いつも使っているから動くのが当たり前でその仕組みは・・・本当はよくわからない体の中を解明していく楽しさを、有効な教材を通して子どもたちに感じてほしいと願っています。



骨格模型についての講義

参加者の感想

「たくさんの教材の紹介をありがとうございました。この単元に入るのがとても楽しみになりました。実際に活動する体感する良さを今日の研修で再確認しました。」

要請研修『聖ヶ鼻地層学習会』（10月2日実施）三中校区小学校6年生

内容

同じ中学校区の小学校の連携事業の一つで、三中校区の4小学校の6年生が集まり地層学習会を行いました。地層の現地学習に訪れる聖ヶ鼻は三中校区内にあるということで児童にとって身近な場所です。

全体を見て、触って、粒を見て学習を深めていました。来年度中学校1年生になったとき、「大地の変化」の単元で再度この学習を思い出してくれればいいなあと思います。



全体説明の様子

児童の感想

「迫力ある地層だった！海の中でできた地層がここにあることにびっくりした。化石を掘ってみたいなあ。」

第48回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

期日 10月4日(金) 13:00～17:00

内容

今年度参加校18校、参加数52点の発表がありました。昨年度より20点以上も多い児童生徒の参加で、センターが賑わいました。長い夏休みに自分の調べてみたいことをちょっと時間をかけてやってみた児童生徒が多く、授業とは一味違う追究する楽しさを感じてくれたようです。

当日は堂々と発表する姿、質問し合って友達の研究の良さを感じる姿が随所でみられ、参加した児童にとってはいい機会になっていたと思います。これまでの児童生徒のがんばりとともに、保護者の方の支えや、先生方の丁寧な御指導に感謝いたします。

身の回りのほんのちょっとした「？」から研究は始まります。児童生徒に科学研究を勧める働きかけ、アドバイスをぜひこれからも継続して行ってください。今年度は夏休み前、センターの専任所員が「科学研究のすすめ」として各学校の要請を受けさせていただきました。来年度もご希望があれば各学校回らせていただきますので、ご希望の学年、学校はご連絡ください。

今年度の審査結果は次のとおりです。また、優秀賞を受賞した研究は、新潟県のいきいきわくわく科学賞へ出品する予定です。

小学校中学年 A の部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	柏崎小学校	3	近藤 亜純	二十日大根は本当に二十日でできるのか	奨励賞
2	新道小学校	4	南波 実優	雲について	奨励賞
3	剣野小学校	4	中村 理乃	アリにも味の好みがあるのか？	奨励賞
4	田尻小学校	3	多々 美咲	身近な紙を使って再生紙を作る	奨励賞
5	新道小学校	4	宮田 はづき	草木染め	奨励賞
6	柏崎小学校	4	武石 悠太	しゃぼん玉の研究	優秀賞
7	比角小学校	3	伊藤 彰海	切ったネギの研究	優秀賞
8	高柳小学校	4	永井 彩	コップからコップへ動く色水	奨励賞
9	半田小学校	4	堀井 佑亮	水道水の塩素についての実験	奨励賞
10	鯖石小学校	3	雫川 大翔	回したときに星になるコマのもようを見つけよう！	優秀賞
11	荒浜小学校	4	遠山 暖大	アルコールでぬらした紙は水の上でどう動くか	優秀賞

小学校中学年 B の部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	剣野小学校	3	葛山 桜	野菜と果物、たまごの浮きしずみ実験	奨励賞
2	荒浜小学校	3	菊池 天斗	いろいろな気おんをはかる	優秀賞
3	柏崎小学校	4	田中 沙亜耶	ダンゴムシの研究	奨励賞
4	比角小学校	3	湯本 佳奈	スズムシのかんさつ	優秀賞
5	榎原小学校	4	村川 広樹	レモン電池の研究	優秀賞
6	鯨波小学校	4	池田 和	かん電池の大きさによる車の速さの違いはあるのか	奨励賞
7	剣野小学校	3	西潟 翔	ボールのはね方	優秀賞
8	田尻小学校	4	千野 ひなた	いろいろなしゃぼん玉	奨励賞
9	新道小学校	4	内山 歩	ペットボトルカバーって何色がいいの	奨励賞
10	比角小学校	4	猪狩 百花	きれいな水の科学	奨励賞

小学校高学年 A の部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	比角小学校	5	本間 啓	花火の色について	優秀賞
2	刈羽小学校	5	小林 可廉	ペットボトルの水を速く出す方法	奨励賞
3	内郷小学校	5	栗田 朱里	どの氷がとけにくい	奨励賞
4	剣野小学校	5	渡邊 龍河	カブトムシとクワガタの好む場所	奨励賞
5	柏崎小学校	6	宇佐美 建	海に砂鉄はあるか	奨励賞
6	中通小学校	6	渡辺 愛理	カビの出来る条件	奨励賞
7	剣野小学校	5	田村 柚子	カナヘビとトカゲ お気に入りの場所は？	優秀賞
8	田尻小学校	6	武江 真哉	「混ぜるなキケン」家庭内にある酸性とアルカリ性調べ	優秀賞
9	比角小学校	6	小林 夏緒	太陽の光でお湯をわかそう	奨励賞

小学校高学年 B の部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	高柳小学校	6	矢代 響	むらさきも液で身の回りのものを分けられるのか	奨励賞
2	榎原小学校	5	小林 未来	油と水の実験	奨励賞
3	荒浜小学校	5	久住 ふうり	氷を長持ちさせるには	優秀賞
4	比角小学校	6	辻川 由奈	器によって氷の溶け具合はちがうのか	奨励賞
5	荒浜小学校	6	品田 洸太郎	サイコロの研究	奨励賞
6	鯖石小学校	6	片桐 翔哉	ボールのはね方のひみつ	奨励賞
7	柏崎小学校	5	渡邊 考太郎	パロケットが一番遠くに飛ぶ条件を見つける	奨励賞
8	内郷小学校	5	渡辺 乃愛	メダカの実験	優秀賞
9	剣野小学校	6	小林 悠	弱肉の謎 2013 ~こんにやく芋の巨大化~	優秀賞

小学校高学年Cの部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	田尻小学校	6	多々 蒼一郎	射的で成功する方法～自作の道具を使用して実験する～	優秀賞
2	鯖石小学校	6	行田 猛	メダカはどの色を好むか	優秀賞
3	大洲小学校	6	藤田 里穂	柏崎から寺泊の砂あつめ	奨励賞
4	高柳小学校	5	村田 到生	アマガエルはどんな色にも変身できるのか	奨励賞
5	刈羽小学校	5	亀井 咲良	風車の羽根はどうしたら一番よく回る？	優秀賞
6	日吉小学校	5	丸山 愛梨	日吉の周りの川のよごれ調べ	奨励賞
7	荒浜小学校	5	菊池 瑠楓	風船をわる実験	奨励賞
8	柏崎小学校	6	諸橋 優斗	こんにゃくにはどうやって色がつか	奨励賞

中学校の部

	学校名	学年	氏名	題目	審査結果
1	第二中学校	1	小田 明希	紙の吸収力	奨励賞
2	東中学校	3	山崎 良太 内山 樹沙巳	小型風力発電機	優秀賞
3	第二中学校	1	上村 由季	10円玉の汚れはどんなもので落ちるか	奨励賞
4	東中学校	3	中村 賢 春日 颯太	ゴム動力飛行機	奨励賞
5	第二中学校	2	辻 幹太	塩を作るまで	奨励賞



発表の様子



歴代参加賞のバッジ



表彰式の様子

要請授業『流れる水のはたらき 野外観察会』

比角小学校5年生(10月7日実施) 田尻小学校5年生(10月15日実施)

観察ポイント<上流観察 善根・不動滝> <中流観察 鯖石川 山室中央バス停付近>

内容

小学校5年生「流れる水のはたらき」の単元で現地学習会をしました。鯖石川ならここが一番！というところで行いました。上流の観察ポイントである善根の滝はバスから降りて5分ほどの場所にあり、きれいで迫力のある景色に圧倒されます。鯖石川中流の観察地点ではカーブの内側と外側の違いを観察したり、石が丸くなっていく実験を河原で行ったりしました。優れた映像も多いですが、学年で計画をし、ぜひ多くの学校が現地学習を行ってほしいと思います。地域の素材を見て学習することは、児童の実感を伴った理解につながり、地域を愛する心情を育むことにつながるのではないのでしょうか。



アクアスコープで河床を観察

児童の感想

「川にはいろいろ秘密があることが分かった。一番びっくりしたのは川の流れとともに石などが流され、ぶつかりあって丸くなり、だんだんと小さくなっていくことが分かったこと。上流の滝は迫力があって元気をもらえた！」

中学校2年生『電気の世界』(10月9日実施)

内容

「こんな授業をしたらどうだろう？」という視点から、単元全体の流れを専任所員が模擬授業形式で提案しました。経験に基づいた授業構成だったので、参加された先生方にも新たな発見があったようでした。小



講義の様子

学校の3年生から毎年電気単元があり、少しずつ積み重ねていく単元であるにもかかわらず、生徒が苦手意識をもちやすい単元です。わかりやすく、イメージをもつことができる授業が提案されました。

参加者の感想

「教材と改めて向き合い、新しい視点をいただきました。イメージしにくい電流、電圧、抵抗を体を使ってイメージさせたり、粒の流れで説明すると分かりやすくなったりすることが分かりました。より分かりやすく授業展開するヒントになりました。」

要請研修『星空観察会』(10月11日実施) 荒浜小学校

内容

あいにくの雨でしたが、体育館でさまざまな体験を行いました。大きなスクリーンを用意して天体シュミレーションソフトを映し出し、今日の星空を紹介しました。スケールが大きな宇宙を室内でも感じることができました。次に教育センター所有のiPadを使って、アルビレオ、土星などの画像を見たり、おすすめアプリで星や星座を映し出し、小グループでのプラネタリウムを楽しんだりしました。他にも、惑星が回る様子や、天の川の見え方を一人一人が持ったライトで体験しました。



惑星の運動を体験

児童の感想

「宇宙の一生からしてみれば、人間の一生は本当に短く、一瞬なんだということを感じた。雨が降ったけど、天の川の仕組みが分かってよかった。」



11月の予定



第52回教職員理科研究発表会(第26回柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会)

～上越科学技術教育研究会と共催～

日時 11月12日(火)

会場 教育センター

内容 糸魚川・上越・妙高・柏崎地区より先生方が集まり、理科授業についての実践発表会を行います。明日の授業に生かせるたくさんのヒントが得られるチャンスです。一日日程ですが、半日での参加も可能です。午後からは上越教育大学講師 稲田結美先生をお招きして講演会もあります。**柏崎刈羽郡学校教育研究会の科学教育部に所属されている方は原則参加**となりますので、予定しておいていただきたいと思います。

科学の祭典(秋) 柏崎刈羽大会 2013

日時 11月16日(土)

会場 新潟工科大学

内容 定番の「スライム」「アイスクリーム」だけでなく、児童生徒の「なんで?不思議?」を引き起こす、全部で18のブースを用意しています。ぜひ先生方、児童生徒たちに宣伝をお願いします。科学に触れる機会を地域の子どもたちに提供します。ブーススタッフとしてご協力いただける先生方は一緒に科学の祭典を盛り上げましょう。また、ご都合のつく先生方はぜひ、ご家族でお出かけください。

環境・エネルギー教育(中学校放射線教育)

日時 11月19日(火)

会場 原子力広報センター

講師 舟生 武史 様

内容 放射線に関する指導を行う場合、指導する側は放射線に関する正しい知識をもっている必要があります。放射線とは何か、放射線に関する単位の扱い、霧箱を用いた実験について実験を含め研修します。昨年度文部科学省から配布された副読本「放射線について考えてみよう」に基づき、研修を進めます。放射線の基礎知識や利用のされ方について一緒に学習しましょう。

心の窓

No.170

ふれあいルームより

今年はまだまだ暑い日が続いていますが、10月にもなると教育センターの周りの山々も秋めいてきます。ふれあいルームに来ている中学三年生も進路に向けてそれぞれが動き出しています。この時期、ふれあいルームの指導員も高校見学に出かけることがあります。その際、ふれあいルームの卒業生が高校で同級生に混じって授業を受け、友達と楽しそうにしている場面を目にすることがあります。とてもうれしい瞬間です。すべての卒業生が順調にその後を過ごしているわけではありませんが、我々の目標とする子どもたちの姿の一つとして目に焼き付けてきます。

「高校に行きたい」という気持ちは、適応指導教室に来ている子にとっては、進路の実現という以外に別の意味も持っています。それは、「人生の再スタート」です。少し大げさかもしれませんが、ふれあいルームに来ている子どもたちは大なり小なり小学校、中学校生活は上手いかなかったという思いを抱えています。人間関係も含めて社会との付き合いをもう一度やり直す場としても、高校に希望を抱いているのです。しかし、ただ新しい環境に行けば上手くいくということにはなりません。小学校、中学校での自分を振り返り、自らも成長して初めて新しい仲間との良い関係を築いていくことができるのです。ですから、不登校の子が高校へ行くためには、受験勉強に加えて学校という場に慣れることや、同級生や先生とのコミュニケーションについて学ぶこともしていかななくてはなりません。

今、ふれあいルームの3年生も一度は自ら距離を置いた学校という場所と、もう一度向き合うということをしています。それは子どもたちにとってはとても勇気のいることです。学校、家庭、ふれあいルームも協力、連携しながら子どもたちを支援しています。でも最終的に実現できるかどうかは自分自身の意思と行動にかかっています。やるのは自分しかないのです。進路の実現と人生の再スタートという目標に向かって、ふれあいルームの通級生は頑張っています。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 1日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 7日(木) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 15日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 21日(木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 22日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ

教育相談班 11月の予定

《ふれあいルーム》

- 1日(金) ソフィアセンター
- 8日(金) 陶芸教室
- 15日(金) 陶芸教室



第33回 中高生と大人の座談会 テーマ「今 熱中していること」

去る8月18日（日）に「中高生と大人の座談会」を市民プラザで開催しました。市内の中学校（翔洋中等学校も含む）から38名、高校から14名、PTA36名、青少年育成委員25名など総勢117名が参加しました。まず、全体会では、高校生から「今、熱中していること」をテーマに、部活動のこと高校生活のことなど元気にそして爽やかに語っていただきました。

その後、8つのグループに分かれ中学生・PTA・育成委員を交えて、高校生の発表を基にそれぞれが「今、熱中していること」を語り合い、世代を超えた意見交流を行いました。



高校生の発表



グループ討議の様子

<中学生>

高校生でも部活に熱中する（している）人が多く驚いたし、中学生へのメッセージもあってよかった。高校生らしい目線での発表で参考にしたい。意見交換では、他の中学生の人の考え・大人の方の考えがわかってよかった。

<高校生>

普段は聞けない他の学校の人の意見を聞くことができるいい機会だと思い参加した。同じ高校生ではあるが、私とは全然違った意見・考えをもっている方々ばかりでとても刺激

になった。また、PTAや育成委員の方々の大人目線からの意見もとても考えさせられるものばかりだった。

<PTA>

部活に熱中しているという発表が多く、きらきら輝いて見えた。仲間作りに部活はぴったりで、仲間と頑張ることに喜びを感じている様子が分かった。部活以外にはどんなことに熱中しているのか興味があった。もっと中高生に語ってもらいたかった。こういう場で、日頃考えていることを言葉にして伝えるということはなかなかないので・・・。

<育成委員>

当面、熱中していることは皆さん具体的に発表されていた。目まぐるしく変化する現代では将来の目的はまだ見えていないように思えた。10代～60代の意見交換で、世代の格差が縮まったように思う。年をとっても、現在でも熱中できることを決め、集中することが生きがいになると思う。

グループ討議の記録やアンケートの回答を読ませていただき、それぞれの考えや気持ちを交流させるよい機会になったことを実感しています。寄せられたご意見を参考にして今後も意義ある会になるよう運営に努めてまいります。ご協力いただきました多くの皆様へ感謝申し上げます。

なお、この会に参加した高校生が、発表した内容のとおり国体や吹奏楽の大会に出場を果たし、夢に向かって着実に成果を上げている様子を知り大変うれしく思っています。

平成25年度 青少年を取り巻く社会環境実態調査結果より

柏崎市の「社会環境の実態調査」がまとまりましたので、お知らせします。

調査の概要

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資するために、7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として実施しました。

調査方法

青少年育成委員が巡回調査を実施しました。

実態

※一印は、今年度は実施しない。

調査項目	14年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	10年前比
酒類自動販売機台数	29	18	13	13	9	9	-	-10
タバコ自動販売機台数	228	189	175	172	159	152	-	-76
酒類販売のコンビニ店数	13	28	31	31	36	36	35	+22
タバコ販売のコンビニ店数	20	31	35	35	36	36	35	+15
有害ビデオ自動販売機台数	23	16	11	11	15	14	14	-9
一部有害図書販売書店数	12	-	10	10	8	7	7	-5
一部有害図書販売コンビニ店数	17	30	34	34	34	35	33	+16
ゲーム場数	8	8	9	8	6	6	5	-3
エアースフトガン取扱店数	5	6	4	4	4	4	4	-1
大人のおもちゃ販売店数	1	-	1	1	1	1	1	0
成人向ビデオ販売書店数	10	-	6	6	5	4	5	-5
成人向ビデオ貸出店数	8	8	5	5	5	5	5	-3
カラオケボックス店数	6	4	4	4	4	4	-	-2
マンガ喫茶・インターネットカフェ	0	2	1	1	1	1	-	+1

コンビニエンスストアにおける酒・タバコの販売は、全店舗が取り扱っており、コンビニストアの増減によって左右されています。有害な図書・ビデオ類を扱う店舗については、防犯カメラや防犯鏡などが多く取り入れられ監視体制は整っているようですが、忙しいときや店員人数が減る夜間はなかなか目が行き届かないこともあるようです。10年前に実施された結果と比較すると、社会環境浄化活動の成果や社会状況の変化が相俟って、青少年にとって有害な施設等は減少している様子が見られます。

11月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	金	ふ:ソフィアセンター 相:SST小Aグループ16:30-
2	土	
3	日	
4	月	研:いきいきゲーム8:40~15:30
5	火	
6	水	
7	木	相:SST小Bグループ16:30-
8	金	ふ:陶芸教室②JR柏崎駅8:45~15:12
9	土	
10	日	
11	月	相:班会議13:00-
12	火	科:理科教員研究発表会9:40-
13	水	研:指定研究発表会「生活・理科」(中通小)13:30- 研:事務主任研修③(ソフィア)13:30- 研:子どもに届く言葉がけ・遊びについて15:30-
14	木	研:指定研究発表会「美術」(二中)13:30-
15	金	研:これからのキャリア教育 情:S0小学校時数管理 相:SST小Cグループ16:30- ふ:陶芸教室③JR柏崎駅8:45~11:35
16	土	青少年のための科学の祭典(新潟工科大学)
17	日	
18	月	
19	火	科:中学校放射線教育(原子力広報センター)
20	水	研:郡市指定研究発表会「数学」(東中)13:30- 研:食物アレルギーとエビペン使用について16:00-
21	木	情:S0中学校時数管理 相:SST中①グループ18:30-
22	金	相:SST中②グループ18:30-
23	土	
24	日	
25	月	相:班会議13:00-
26	火	研:算数数学示範授業(半田小)14:00- 情:フリーQ&A 研:指導補助員・介助員研修
27	水	研:図書館教育(ソフィア)14:30-
28	木	研:同和教育現地研修(上越白山神社)13:30-
29	金	研:中学校英語示範授業(南中)14:00-
30	土	育:青少年健全育成大会(市民プラザ 波のホール) 13:00-
		研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班 ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター



所 員 随 想

自然のすがた

教育研究班(科学)非常勤職員 丸山 恵

我が家の息子が『昆虫ブーム』の時期を迎え、今年の夏から秋は、さまざまな昆虫たちを飼育しました。ある日のこと、カマキリが一匹やってきました。図鑑で調べてみると、カマキリはコオロギやバッタなどを食べるとのことでした。

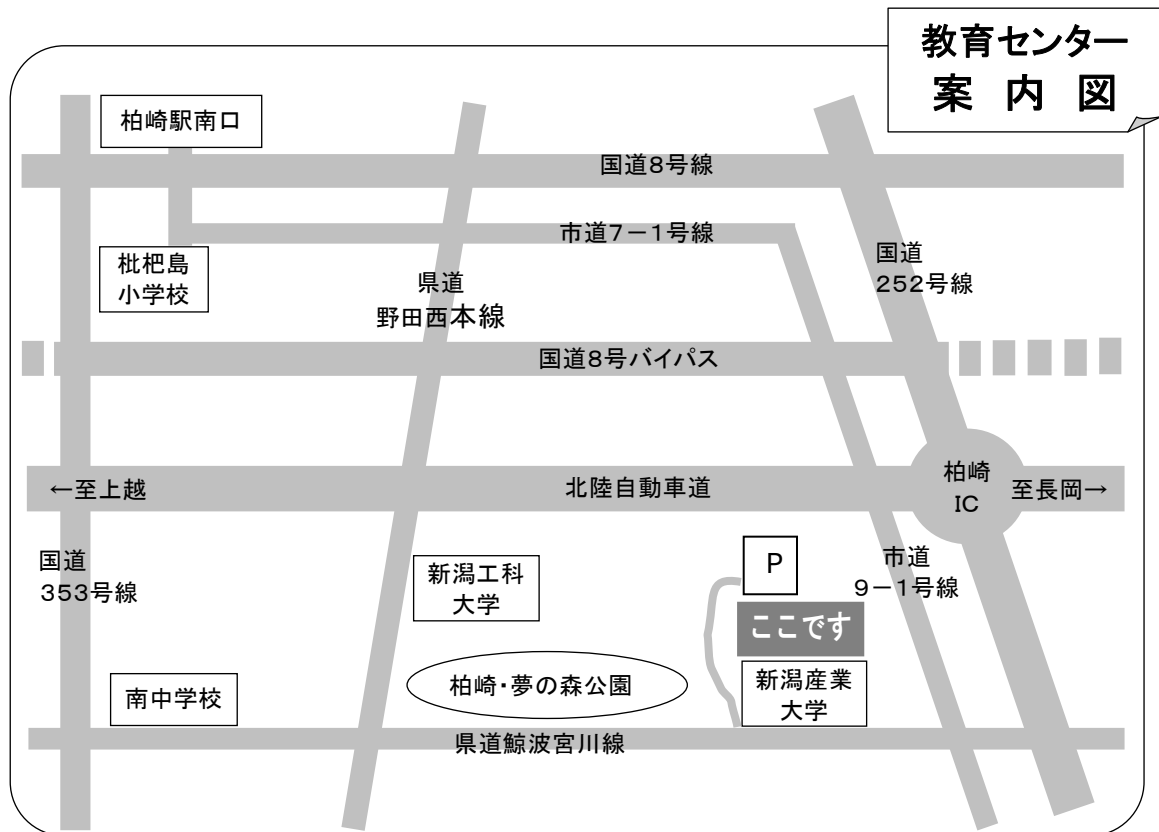
「カマキリさんは、コオロギとか他の昆虫を食べるみたいだよ。」(えさの準備が大変だよ。だから逃がしてあげようよ。)カマキリがちょっと苦手な私の心の声。残念ながら息子には届きませんでした。息子はあつという間に外に出て、生きたコオロギを捕獲。虫かごに投入、じーっと観察をしています。

その後続くであろうシーンを想像し、私の頭の中には、(ちょっと残酷じゃない?いや、ただの食事と冷静に対処?)といろいろな想いがめぐりますが、息子にかける言葉は見つからず、だまって一緒に観察しました。カマキリは驚くほど丁寧に、静かに、大切そうにコオロギを食べていました。

それを見た息子が、真剣な表情で言いました。

「お母さん、二匹とも生きてるね」

他の命をいただきながら生きていく。その姿から「あるがまま」の自然のすがたを学んだようでした。そして、昆虫が昆虫を食べるシーン=残酷という自分の価値観で見えていた私にとっては、まっすぐな子どもの目線を改めて感じる出来事になりました。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（加齢リクルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成25年10月発

=====